

卵の秘める可能性

城北高校 205HR

尾西萌 北川希実 北村美咲

幡鉾夏季 光永京花

期間：8月6日～10月8日

場所：城北高校

目的：現代では、子供から大人まで幅広い世代で化粧品が使われており、化粧品を購入する為には、多くのお金がかかるそこで、自分たちの身近にある食品で化粧品を作ることができないか考えた。

12 つくる責任
つかう責任



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



活動内容

➤ 卵殻膜美容液を作る。

↳ 家庭で廃棄される卵の殻を集めて、卵の殻の内側についている卵殻膜（薄皮）を用いて美容液を作った。

➤ 作った美容液を1週間男女6名に試してもらい、『美容液の効果』についてのアンケートをとった。

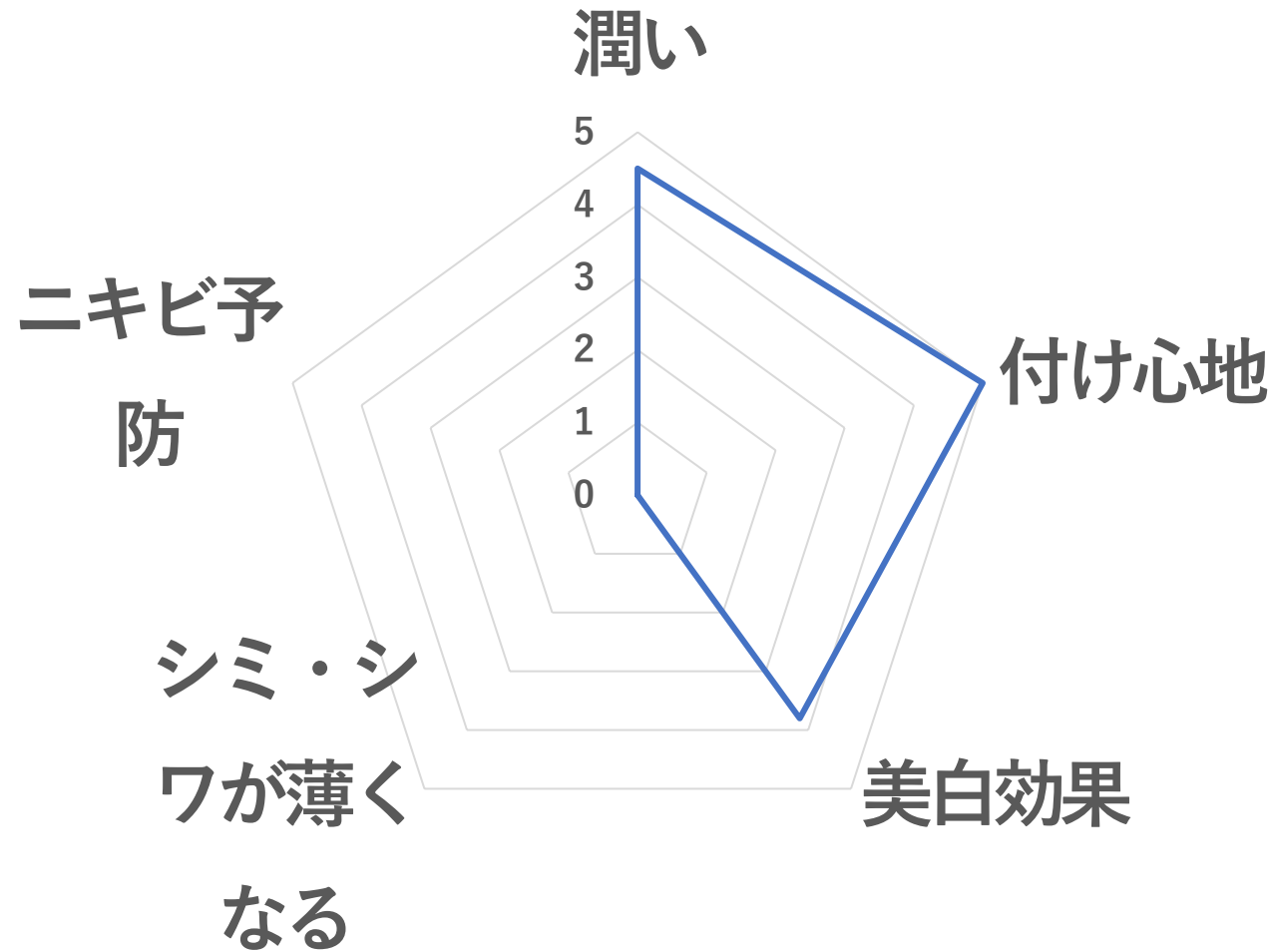
~アンケート内容~

①うるおい②つけ心地③美白効果

④シワ・シミが薄くなる⑤ニキビ予防

結果

アンケート結果



①潤い②付け心地③美白効果では、高い効果を得ることができた。一方、④シワ・シミが薄くなる⑤ニキビ予防では、はっきりとした効果を得ることができなかった。

まとめ

この実験を通して、私たちの身近にある食品で美容液を作ることが可能であるとわかった。この美容液を作るうえでのメリットやデメリットはたくさんあるが、食品の廃棄される部分や食べずに廃棄してしまう食品でも使うことができるため、ごみの排出を減らすことができる。

これからは、卵以外に化粧品の成分として使うことができる食品が他にないか調べていきたい。